AI「ゼロイチ発明」の現在地と人間・AI共創の未来

発明プロセスの分解とAIの現在地

数学と実世界発明の構造差

純粋数学（定理証明）



閉じた論理空間・高速判定

産業・技術のゼロイチ発明



開いた物理空間・試作検証が律速

比較軸	純粋数学（定理証明）	産業・技術のゼロイチ発明
空間と検証	閉じた論理空間・高速判定	開いた物理空間・試作検証が律速
AIの役割	自律的な推論・証明の探索	異分野技術の結合・解決策の提示
人間の役割	初期命題の設定・方針決定	課題定義（What/Why）・物理実証

知財実務と人間が担うべきコア役割



自然人の「実質的関与」が必須

AIは発明者になれず人間の創作プロセスの記録が必要。

定義



「進歩性」ハードル上昇への対応

AIの予測を超える顕著な効果の定量的立証が必須。

顕著な差異



「What/Why」の定義力へシフト

真の課題設定とAI提案の目利きに人間は集中する。

望ましい発明



自律駆動型ラボによる加速

AIと実験ロボットの直結により物理検証を自動化。



Gemini Notebook